

「同窓会奨学財団」へのご寄附のお礼とお願い

公益財団法人埼玉県立川越高等学校同窓会奨学財団

代表理事 菊池 建太

令和元(2019)年、母校の創立120周年を機に、同窓会会員が一丸となって母校の教育活動を支援するため、「公益財団法人埼玉県立川越高等学校同窓会奨学財団」の設立が認可されました。

生徒たちは川高の伝統のもと、知・徳・体の調和のとれた豊かな人間性を実現すべく、勉学、部活動、学校行事等に全力で取り組んでいます。将来、日本を背負い、世界平和に貢献する人材や地域社会の核となる人材の育成に資するため、同窓会として母校を継続的に支援する必要があるものと考えます。

本財団として当面は総額5,000万円の財源確保を目標としているところですが、同窓会員の皆様からは、令和元年度からの4年間で、3,097人から計3,541万5,518円の貴重なご寄附を頂戴いたしました。ご協賛いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。

寄附金は、①学習意欲の旺盛な生徒への奨学金の給付、②先進的な「川高サイエンス探究」の支援、③「Go Global! 高い志、世界へ向けて!」(GLP グローバル・リーダーシップ・プログラム)の支援に充てられ、これまでの4年間に計1,295万円を給付及び助成することができました。

令和4年度の事業及び寄附の状況

◆ 事業実施状況

- ① 奨学金給付：105万円
- ② 「川高サイエンス探究」への助成：100万円
- ③ 「GLP」(STEP2：疑似留学体験のみ)への助成：15万円

◆ 寄附金募集事業

寄附者：764人 寄附金：658万1,594円

「GLP」については、コロナ禍による渡航制限から学校の計画通りには進んでいない現状がありますが、コロナ禍の収束を待って最終ステップとしてニュージーランドへの短期留学が実施される予定です。今後も、本財団による母校への支援をさらに充実させ長期に継続していくため、会員の皆様には本財団の趣旨にご賛同の上、特段のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

「同窓会奨学財団」へのご寄附の方法

- 金額 一口5,000円(できましたら複数口でお願いいたします。)
- 振込方法 同封の奨学財団専用の振込用紙をご利用ください。
- ご寄附いただく方には、公益財団法人のもとでの優遇措置があります。

奨学財団の支援に係る教育活動

川高サイエンス探究(SSH から川高独自のチャレンジへ) (同窓会報 p. 21 参照)

科学・科学技術に関心がある生徒を中心に研究能力や表現能力・発表能力を高めるプログラムを全校規模で実施しています。通常の学習活動に併せて取り組み、国際的に活躍できる科学系人材の育成を目指します。大学や研究機関と連携した最先端科学講座、プレゼンテーションのスキルアップ、コンテストへの参加、他高校や小中学校との交流などのプログラムから構成されており、ノーベル物理学賞受賞の梶田隆章先生にもスーパーバイザーとして毎年指導を受けてます。



梶田教授から指導を受ける川高生



冬休み科学教室で指導する川高生

グローバル・リーダーシップ・プログラム(GLP: Global Leadership Program)

川高独自のグローバル人材育成のためのプログラムで10年目を迎えます。

◇Step1=異文化理解プログラム：各クラスに外国人留学生等を招き異文化交流

◇Step2=疑似留学体験：米国の大学生・大学院生を招き英語漬けの集中講座

◇Step3=次世代リーダー育成プログラム：ニュージーランドのオークランド大学へ7日間の短期留学。講義、ディスカッション、社会貢献活動等を体験。



Step2 の修了式



集中講座での授業風景

※Step3は、コロナ禍により実施を見合わせていますが、海外短期留学が実施されていた際には、総額100万円の助成をしていました。加えて昨今の為替変動や渡航費等の高騰により、プログラム継続にはさらなる支援が不可欠です。